

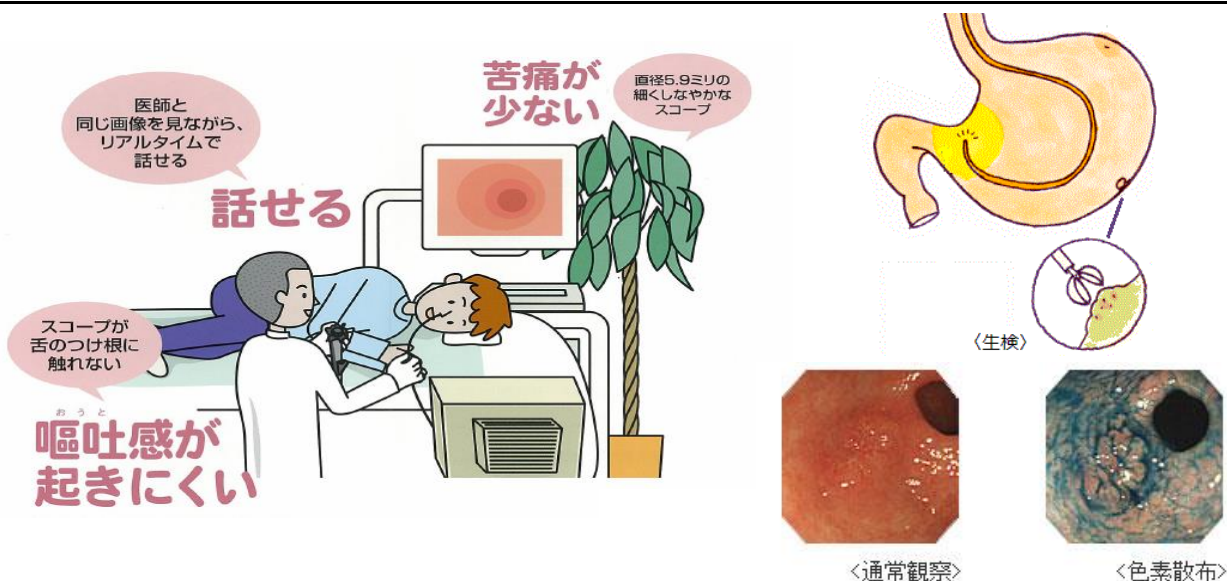
経鼻内視鏡検査 説明・同意書

様

経鼻内視鏡検査は、鼻腔より細い内視鏡を挿入し、あなたの食道・胃・十二指腸の中を詳細に観察し、診断する方法です。

- 1) 検査前に、内視鏡検査による感染防止のため血液検査をすることがあります。
- 2) 鼻の穴が小さい方や鼻の穴の痛み等で、鼻から内視鏡が挿入できない方は、口から挿入することになります。
- 3) 検査中に、病変を認めたり疑われたりした場合や出血等がみられた場合には、必要に応じて次のような事が行われる可能性があります。
 - ・ 粘膜組織の一部を鉗子でつまみ取り、組織(細胞)の検査を行います(生検)。
 - ・ 病変部位・病変が疑われる部位に安全な色素を散布し、病変を明確にして診断の助けとします。
 - ・ 出血などがみられた場合には、経鼻内視鏡を抜去し、経口から通常の内視鏡を挿入し止血操作を行います。
- 4) 経鼻内視鏡検査による危険性としては、次のような事が報告されています。
 - ・ 鼻血が出ることがありますが、ほとんどの場合、薬剤の塗布で止血します。
 - ・ ごくまれにスコープによる粘膜傷害(粘膜亀裂)や裂傷、出血を生じること(0.04%)があります。
 - ・ 前処置の薬剤によるアレルギー。
 - ・ 検査前にあった疾患の悪化。

ただし、以上の偶発症は起きないように細心の注意を払い、内視鏡検査は行なわれません。万一、緊急事態が生じた場合は、当院医師がその解消に責任を持ってあたります。



令和 年 月 日

担当医署名:

私は上部消化管内視鏡検査の目的と方法、危険性について上記の事項を読み、また主治医よりの説明にて了承しました。

患者または代理人署名: _____